

● 桃から生まれた桃太郎はある日考えた。
● そうだ、鬼をたいじしよう。オレが世界を救う
● のだ。
● 桃太郎はおばあさんに、きびだんごを作っても
● らおうとして、ふと考えた。
● そうだ、鬼は何人いるかわからない。
● かなり多くの仲間をつくらなければ、今後大変
● かもしれない。ここできびだんごを作ってもら
● うのではなく、おばあさんもなかまにしてはど
● うだろうか。
● 桃太郎はおばあさんをなかまにした。
● さて、どうすればなかまをこうりつよく集める
● ことができるか・・・そうだ。
● 桃太郎は、動物園へ向かった。
● そこからがいそがしかった。
● おばあさんがキッチンで大量のきびだんごを作
● り、それを全ての動物に食べさせた。
● 動物園中の動物たちの心が一つになった。
● だが、ここで大問題がおきた。
● 桃太郎は動物園のさくの外からきびだんごをあ
● げたにすぎない。つまり、動物にエサをあげた
● おきやくさんの一人にすぎなかった。
● 動物たちは桃太郎と一緒にいきたくても、さく
● から出ることはできなかった。
● 桃太郎をみつめる動物園の全ての動物たち。
● 桃太郎は決心した。
● 動物園の飼育員になることに。

問 い 1	おばあさんをつれて、桃太郎が向かった場
所とは	
問 い 2	桃太郎は最後、何になることに決心した？